

## 評価結果概要表

### 【事業所概要（事業所記入）】

事業所番号	3870600362
法人名	社会福祉法人 回生会
事業所名	グループホーム 福寿
所在地	愛媛県西条市飯岡 3 3 8 1 番地の 1
自己評価作成日	平成23年10月28日

### 【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点（事業所記入）】

<ul style="list-style-type: none"> <li>・昨年12月新しく1ユニット増設し、2ユニットになり、お互い協力しながら、連携を図っている。</li> <li>・同一敷地内に病院、老健、ユニット型特別養護老人ホーム、特別養護老人ホーム、デイサービス、ケアハウス等があり、日頃から連携がとれている。</li> <li>・緑と自然に囲まれ、恵まれた環境の中、ゆったりと時間が流れている。</li> <li>・法人全体として、音楽療法を実施し、各ユニット週2回音楽療法士によるプログラムを実施し、利用者様が大変楽しみにしている。</li> <li>・トイブードルを飼っており、利用者様とのふれあいの中で、精神的な安定や、やすらぎの時間の提供に努めている。</li> <li>・防災対策に取り組んでいる。(ヘルメット、衛星電話、非常発電装置等)</li> </ul>
--

事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(このURLをクリック)

基本情報リンク先	
----------	--

### 【評価機関概要（評価機関記入）】

評価機関名	特定非営利活動法人JMACS
所在地	愛媛県松山市千舟町6丁目1番地3 チフネビル501
訪問調査日	平成23年11月16日

<p>併設の特別養護老人ホームと合同でも炊きを行った際には、8名のご家族の参加があり、ご家族は準備や片づけを手伝ってくださった。ご家族の来訪時、お帰りに際して「こちらでお話しませんか」と管理者はご家族に声をかけて、事務室でお茶を飲みながらお話しするような機会を作っておられ、ご家族の心情にも配慮しながら、不安や心配なことを聞いておられる。</p> <p>居室は、それぞれにご家族が来られ、一緒にゆっくり過ごせるようテーブルといすを持ち込んでおられたり、ご主人の位牌と写真にお花を供えておられたり、ご自宅でご使っておられた鏡台やタンスを置いておられる方もみられた。ご家族が持って来てくださったお花や庭のお花を飾っておられる。各居室には洗面台が付いており、化粧水を置いている方もあった。こたつを置いている方は、職員が訪問した際にはお茶を入れてくださるようで、職員はお湯を持って訪問するようにしている。</p>
--

### ・サービスの成果に関する項目（アウトカム項目） 項目 1～55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目		取り組みの成果 該当するものに印	項目	取り組みの成果 該当する項目に印
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目：23,24,25)	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. ほぼ全ての利用者の</li> <li>2. 利用者の2/3くらいの</li> <li>3. 利用者の1/3くらいの</li> <li>4. ほとんど掴んでいない</li> </ol>	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています (参考項目：9,10,19)
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目：18,38)	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 毎日ある</li> <li>2. 数日に1回程度ある</li> <li>3. たまにある</li> <li>4. ほとんどない</li> </ol>	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目：2,20)
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目：38)	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. ほぼ全ての利用者が</li> <li>2. 利用者の2/3くらいが</li> <li>3. 利用者の1/3くらいが</li> <li>4. ほとんどいない</li> </ol>	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目：4)
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目：36,37)	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. ほぼ全ての利用者が</li> <li>2. 利用者の2/3くらいが</li> <li>3. 利用者の1/3くらいが</li> <li>4. ほとんどいない</li> </ol>	66	職員は、生き活きと働いている (参考項目：11,12)
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目：49)	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. ほぼ全ての利用者が</li> <li>2. 利用者の2/3くらいが</li> <li>3. 利用者の1/3くらいが</li> <li>4. ほとんどいない</li> </ol>	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目：30,31)	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. ほぼ全ての利用者が</li> <li>2. 利用者の2/3くらいが</li> <li>3. 利用者の1/3くらいが</li> <li>4. ほとんどいない</li> </ol>	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らさせている (参考項目：28)	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. ほぼ全ての利用者が</li> <li>2. 利用者の2/3くらいが</li> <li>3. 利用者の1/3くらいが</li> <li>4. ほとんどいない</li> </ol>		<ol style="list-style-type: none"> <li>1. ほぼ全ての家族と</li> <li>2. 家族の2/3くらいと</li> <li>3. 家族の1/3くらいと</li> <li>4. ほとんどできていない</li> </ol>

# 自己評価及び外部評価結果表

## サービス評価自己評価項目 (評価項目の構成)

- .理念に基づく運営
- .安心と信頼に向けた関係づくりと支援
- .その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント
- .その人らしい暮らしを続けるための日々の支援

### 【記入方法】

指定認知症対応型共同生活介護の場合は、共同生活住居(ユニット)ごとに、管理者が介護職員と協議のうえ記入してください。

全ての各自己評価項目について、「実施状況」を記入してください。

(注) 自己評価について、誤字脱字等の記載誤り以外、外部評価機関が記載内容等を修正することはありません。

用語について

家族等 = 家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含みます。  
(他に「家族」に限定する項目がある)

運営者 = 事業所の具体的な経営・運営に関わる決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)。

職員 = 「職員」には、管理者および非常勤職員を含みます。

チーム = 一人の人を関係者が連携し、共通認識で取り組むという意味です。  
関係者とは管理者・職員はもとより、家族、かかりつけ医、包括支援センターなど、事業所以外で本人を支えている関係者を含みます。

ホップ 職員みんなで自己評価!  
ステップ 外部評価でブラッシュアップ!!  
ジャンプ 評価の公表で取組み内容をPR!!!

- サービス向上への3ステップ -

事業所名 グループホーム 福寿

(ユニット名) A 棟

記入者(管理者)

氏名 高橋 早智子

評価完了日 平成 23 年 10 月 28 日

# 自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
<b>理念に基づく運営</b>				
1	1	理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所 理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共 有して実践につなげている	(自己評価) 利用者一人ひとりが、自分らしくやすらぎのある生活が続 けられることを理念とし、事業所内に掲示して職員全員で 共有している。(目標も掲示している。)	
			(外部評価) 「一人ひとりのしあわせ やすらぎ作り」という事業所理念 を、法人の理念とともに事務室に掲示し、朝の申し送り時 に職員で唱和されている。職員は、利用者の「しあわせ」 を、利用者の笑顔で感じられている。	
2	2	事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられ るよう、事業所自体が地域の一員として日常的 に交流している	(自己評価) 併設施設の真ん中にあり、日々の交流は難しいが、併設 施設、併設病院を訪問する方々等が当ホームの農園に立 ち寄ってくれたり、民生委員の訪問、盆踊り、芋炊きなどの 行事を通じて交流をしている。	
			(外部評価) 運営推進会議に民生委員の方が参加してくださってい る。病院受診に来られた方が帰りに、事業所の畑をのぞ いてくださり、野菜作りのアドバイスをくださったりする。	
3		事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知 症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に 向けて活かしている	(自己評価) 事業所として、公民館で地域の方々の健康チェック、音楽 療法士による音楽療法、栄養士による栄養相談を実施 し、地域との交流を深めるよう取り組んでいる。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
4	3	<p>運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>運営推進会議は2カ月に1度開催し、利用者の近況報告、健康状態、取り組んでいることなどを説明し、意見交換している。施設長、居宅管理者等もメンバーに加わり、改善点があれば、善処している。</p>	
			<p>(外部評価)</p> <p>会議は、併設施設の「地域交流センター」で開催されており、ご家族や民生委員の方に参加いただいている。事業所から行事実施や今後の予定を報告されたり、利用者の入退居や利用者の状態を報告されている。法人の居宅介護事業所からも職員が参加して下さっており、ご家族が「ご自宅近所の高齢者の方が気になる」ことを相談された際には、申請の手続き等を説明されたり、いつでも相談に乗ることを話された。</p>	
5	4	<p>市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる</p>	<p>(自己評価)</p> <p>市役所を訪問したり、電話等で相談、アドバイスをいただいている。毎月、介護相談員の訪問があり、意見交換を行っている。</p>	
			<p>(外部評価)</p> <p>運営推進会議時に、地域包括支援センターの担当者の方に介護保険についてお話いただけるようお願いして、説明していただいたこともある。介護相談員は、利用者の様子を見たり、お話をしながら希望や要望を聞き取って下さっている。</p>	
6	5	<p>身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる</p>	<p>(自己評価)</p> <p>法人内の研修会に職員全員が参加し、理解を深めている。また、日頃から職員間で身体拘束について話しあっている。</p>	
			<p>(外部評価)</p> <p>居室には、柵のないベッドも多い。利用者によっては、足を降ろした場所に畳やじゅうたんを敷いてある居室もみられた。</p>	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
7		虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	(自己評価) 法人内の研修会に職員全員が参加し、理解を深めている。また、日頃から虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている。	
8		権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるように支援している	(自己評価) 現在、必要とする人はいないが、10月に「成年後見制度」の法人全体の研修があり、全員参加している。	
9		契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	(自己評価) 契約時や解約時、ご家族に文書や口頭で十分説明し、疑問点や不安点等を伺い、解消できるよう努めている。	
10	6	運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	(自己評価) 利用者との日頃の会話の中から意見、不満、苦情を聞き出し、ご家族には来訪時や家族会、運営推進会議で意見や要望を聞き、運営に反映している。	
			(外部評価) 併設の特別養護老人ホームと合同でも炊きを行った際には、8名のご家族の参加があり、ご家族は準備や片づけを手伝ってくださった。ご家族の来訪時、お帰りになる際に「こちらでお話しませんか」と管理者はご家族に声をかけて、事務室でお茶を飲みながらお話しするような機会を作っておられ、ご家族の心情にも配慮しながら、不安や心配なことを聞いておられる。ユニットごとに作成されているホーム便りで行事を報告されたり、年2回家族会を開催され、6月の家族会時には、ご家族と一緒に折り紙を貼ったり、文字を書いて暑中見舞いハガキを作成され、ご家族にポストに投函してもらえようようお願いされた。ハガキが届くと、利用者はたいへん喜ばれたようで、次の家族会では年賀状作りを予定されていた。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
11	7	運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	(自己評価) 毎月実施している職員会議で意見や提案を聞き、運営に反映するよう努めている。	
			(外部評価) 新しい職員は、法人の新人研修を2週間受けてから、利用者にかかわるようになっていく。又、毎月日中に、法人内研修もあり、勤務の職員も交替で受講し、すべての職員が受けるようになっていく。法人は音楽療法に力を入れておられ、事業所でも週に2回療法士が来てくれるようになっていく。	
12		就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	(自己評価) 事業所が職員の勤務状況を把握し、状況の変化にも対応できるよう整備を行っている。	
13		職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	(自己評価) 法人内研修が毎月あり、全員研修に参加している。また、外部研修参加者は法人全体が参加する合同職員会で発表したり、ホームの職員会で報告している。	
14		同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている	(自己評価) 愛媛県地域密着型サービス協会の研修会に参加し、質の向上を図ると共に、他施設との交流を図っている。	
<b>安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>				
15		初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	(自己評価) 管理者、B棟責任者、ケアマネ等が、本人、ご家族に面接し、利用に至るまでの状況、不安や希望等を聞き取り、職員に伝達し、情報を共有している。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
16		初期に築く家族等との信頼関係サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	(自己評価) 管理者、B棟責任者、ケアマネ等が、本人、ご家族に面接し、利用に至るまでの状況、不安や希望等を聞き取り、職員に伝達し、情報を共有している。	
17		初期対応の見極めと支援サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	(自己評価) ご家族から相談を受けた時、状況に応じて併設施設なども考慮しながら、今必要としている支援ができるよう対応している。	
18		本人と共に過ごし支えあう関係職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	(自己評価) 利用者一人ひとりのできる事を見つけ、一緒に行っている。それぞれの得意としている分野については、職員が利用者に教えてもらっている。	
19		本人を共に支えあう家族との関係職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	(自己評価) ご家族の来訪時、利用者の健康状態、日頃の生活ぶりを伝え、行事などにも参加してもらい、利用者を共に支えていく関係作りをしている。	
20	8	馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	(自己評価) 行事などで外出した際、帰りにドライブをして、生活していた場所を見て回り、思い出話しをしたり、友人や弟子等が訪問しやすいような体制を作っている。	
			(外部評価) 利用者の知り合いの方が別ユニットに入居されていることを知って、時々会いに行かれています。又、法人内の施設に入居されている方等に会いに行くこともある。入居後に知り合った利用者同士も、音楽療法の際に歌を一緒に歌ったり思い出話をすることで、関係作りにもつながっているようだ。「ご家族と一緒にいるような気持ちになってほしい」との思いで、事業所でご家族と一緒に撮影した写真を大きく拡大して貼っておられた。	事業所は以前「ふるさと訪問」を行っておられたが、現在は休止されている。今後さらに、利用者が大切にしておられることや思い出の場所・馴染みの場所等を探り、関係が途切れないような支援をすすめていかれてほしい。事業所の理念にもある「しあわせ作り」に向けて、利用者が大切にしていることを探り、大切にしながら続けることができるようサポートしていかれてほしい。

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
21		利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	(自己評価) 利用者同士のトラブルが起こらないよう、利用者同士の関係を把握している。トラブルがあった時は、職員が間に入ったり、利用者が孤立しないよう配慮している。	
22		関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	(自己評価) 退所後、入院された方のお見舞いに行ったり、併設施設に入所された方に会いに行ったり、ご家族から相談を受けたり、関係を継続している。	
<b>.その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>				
23	9	思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	(自己評価) 日々の様子(表情、言動等)を見ながら、利用者一人ひとりに対して声かけや関わりを持ち、本人の思っている事や意向をくみ取り、把握に努めている。 (外部評価) 音楽療法時に、懐かしい歌等を歌いながら当時の思い出を聞かせていただく等されている。介護記録に利用者から得た情報を記入して、申し送り、職員間で共有して、利用者の思いや意向の把握に努めておられる。新人職員は、最近の介護記録を確認して利用者を知り得てかわるようになっている。	
24		これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	(自己評価) その人の経験や生活歴、生活環境、又、これまでのサービス利用の経過については、本人との会話やご家族、サービス提供事業者からの情報提供にて把握を行っている。	
25		暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	(自己評価) 日々の状態把握や関わり、又、アセスメントやケアプラン等により、概ね現状の把握につながっている。	



自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
26	10	<p>チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している</p>	(自己評価)	<p>全身状態の観察により、利用者の状態を見極め、本人、ご家族、医師、その他の関係者などと意見交換を行いながら、介護計画を立案、作成している。</p>
			(外部評価)	
27		<p>個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている</p>	(自己評価)	<p>記録は本人の言動や様子等わかりやすく記載し、利用者の現状にあった計画が実施されているかを確認しながら対応し、場合によっては情報を共有し、変化に伴った支援が行えるように変更し、対応する。</p>
28		<p>一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる</p>	(自己評価)	<p>希望があれば、併設施設を紹介したり、併設施設の行事に参加し、交流を図るなど、本人やご家族のご希望に添える環境の提供に取り組んでいる。</p>
29		<p>地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している</p>	(自己評価)	<p>地域行事への参加や地域住民の方々の訪問などを通して楽しみを持ち、生きがいのある生活が送れるよう努めている。</p>

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
30	11	かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、 納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係 を築きながら、適切な医療を受けられるように 支援している	(自己評価) 併設病院とは連携がとれている。ご家族が希望する病院があれば、主治医が紹介状を書き、適切な医療が受けられるよう支援している。	
			(外部評価) 敷地内に母体系列の病院があり、24時間365日いつでも相談したり診てもらえるようになっている。	
31		看護職との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報 や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師 等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受 診や看護を受けられるように支援している	(自己評価) 併設病院の看護師は利用者全員の病状を把握し、職員との信頼関係もあり、適切なアドバイスをしてくれている。	
			(外部評価)	
32		入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるよう に、また、できるだけ早期に退院できるように、 病院関係者との情報交換や相談に努めてい る。または、そうした場合に備えて病院関係者 との関係づくりを行っている	(自己評価) 入院時、ご家族とも相談しながら、主治医、看護師、相談員などと情報を交換し、ご家族の意向を尊重しながら対応している。	
			(外部評価)	
33	12	重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、 早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、 事業所でできることを十分に説明しながら方針 を共有し、地域の関係者と共にチームで支援 に取り組んでいる	(自己評価) 重度化した場合は、主治医と十分話し合い、主治医はご家族が納得するまで説明し、関係者全員で方針を共有するよう努めている。	
			(外部評価) 法人内の病院には「終末ケア病棟」もあることから、状態に応じて「病院や施設等、法人施設全体で最期まで看る」スタイルを取っている。入居時に、施設の申し込みをされるご家族もある。ユニットによっては「最後は家に帰りたい」と希望する利用者がおられるようだ。今後さらに、利用者は終末期をどのように過ごしたいかという希望を探ってみる機会も作っていかれてはどうだろうか。利用者主体の取り組みについて事業所でできることはないか話し合ってみる機会にされてはどうだろうか。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
34		急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	(自己評価) 急変時や事故発生時の対応マニュアルがあり、消防署の指導で救急救命法の研修会や避難訓練を実施し、質の向上を図っている。	
35	13	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	(自己評価) 年2回消防署により、事業所全体で消防訓練、避難訓練を実施している。事故発生時の緊急連絡網を整備し、使用訓練も行っている。併設施設との緊急時の協力体制も確立出来ている。A・B棟共スプリンクラーも設置されている。事故発生時、職員の防災用として、ヘルメットも常置した。	
			(外部評価) 法人で衛星電話の設置や非常食を7日分準備されている。事業所周辺の条件等も踏まえ、災害時には地域の方達の力をお借りしなくても避難できるように訓練等をすすめている。敷地内の施設の避難訓練時に職員が応援として参加された。今月末の避難訓練時には、火災や地震を想定して、利用者と一緒に避難場所になっている法人内の駐車場まで避難する訓練を行う予定となっていた。	さらに、水害や土砂災害・津波の恐れ等、いろいろな場面や時間を想定して訓練を重ねられ、課題を明らかにして次の取り組みにつなげていかれてほしい。
<b>. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>				
36	14	一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	(自己評価) 個人情報の取り扱いについては法人内研修会を実施したり、朝礼や職員会などで話し合い、自己反省し処遇の向上に努めている。	
			(外部評価) 職員は、利用者同士の関係等もみながら、仲に入ってつなぎ役をされている。昼食時、お箸を使用しながら手も使って食事をされる利用者に職員がそっとおしぼりを手元に置いておられる様子がみられた。利用者が洗濯ものをたたんでくださったり、豆の皮むきをしてくださった際には「ありがとうございます」と感謝の言葉を伝えるようにされている。又、職員は利用者が得意な編み物の目の作り方を教えてもらったり、利用者を頼りにしている場面も多くみられた。利用者の以前の職業等にも配慮して、ご本人の誇りを大切にしたい呼び方や対応を心がけておられる。	
37		利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	(自己評価) 日頃の会話の中から利用者の思いや希望を聞くことにより、自己決定できるように努めている。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
38		日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、 一人ひとりのペースを大切に、その日をどの ように過ごしたいか、希望にそって支援してい る	(自己評価)  一人ひとりのペースに合わせて、ゆったり過ごして頂くよう に心掛けているが、時間に追われることもある。	
39		身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるよ うに支援している	(自己評価)  服は自分で選べる方は選んでもらい、個々の状況に合わ せたおしゃれづくりができるよう支援している。	
40	15	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの 好みや力を活かしながら、利用者と職員が一 緒に準備や食事、片付けをしている	(自己評価)  食事の献立・食材の手配は、併設施設の栄養士が行って いるが、利用者の好みや農園で収穫した作物を使ったり して、変更することもある。食事の準備や片付けは無理の ない程度にしている。	
			(外部評価)  併設施設の栄養士が立てた献立に沿って、毎日、次の日 の食材が数件の業者から届くようになっており、新鮮な食 材で調理されている。調査訪問時は、畑で獲れたサツマ イモの天ぷらが食卓に上がっており、職員は畑で獲れたこ とを利用者にお話しながら、職員も同じものを一緒に食べ ておられた。食材を小さく切った方が食べやすいような方 も、お好きなものはできるだけその形で食べられるように支 援されており、食事を目で見えて楽しむことも大切にされて いる。	
41		栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通 じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習 慣に応じた支援をしている	(自己評価)  食事の栄養バランスは併設施設の栄養士が、カロリー計 算しており、食事量や水分量は毎回、記録し、チェックし ている。	
42		口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、 一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口 腔ケアをしている	(自己評価)  毎食後の口腔ケアを実施し、利用者の口腔状態に応じた ケアをしている。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
43	16	排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	(自己評価) 「生活リズムパターンシート」の記録で一人ひとりの排泄リズムを把握し、声掛けやトイレ誘導を行っている。	
			(外部評価) 職員は、記録により利用者の排泄のタイミングをみてトイレ誘導し、みなトイレで排泄ができるように支援されている。	
44		便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	(自己評価) 高齢者には便秘の方が多いため、水分補給、繊維質の多い食品を摂るよう心掛けたり、歩行練習を行い予防に努めている。	
			(外部評価)	
45	17	入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている	(自己評価) 日曜日以外、毎日入浴を実施しているが、拒否された場合は無理に誘わず、翌日入浴してもらっている。希望があれば、曜日にこだわらず、入浴してもらっている。	
			(外部評価) ユニットによっては、浴槽が広いこともあって、湯船につかることが難しい方もおられるが、足湯しながらシャワーする等、体が温まるように支援されている。また、利用者それぞれ自分で入浴される様子を観察して、いすに座って体を洗う方や、浴槽のはたに座って浴槽のお湯を使って体を洗う方等、個々の習慣を知り得て、気持ちよく入浴できるようサポートされている。 利用者は、週に3回は入浴できるように支援されており、入浴に気がすすまない利用者は、次の日に声をかけるようにされている。入浴剤を使用して温泉気分を楽しむこともある。	
46		安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々々の状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	(自己評価) 一人ひとりの体調やペースに合わせ、居室で休んで頂いたり、食堂のソファや畳で横になり、くつろいでもらっている。	
			(外部評価)	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
47		服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	(自己評価) 薬に日付を入れ、ミスのないよう努めている。服薬確認表を作成し、毎回、投薬した者が確認表に捺印している。薬の目的や用法については、病院が発行してくれる説明書で理解している。	
48		役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	(自己評価) 食事の手伝いや洗濯物をたたんでもらったり、畑の水やりなどをして頂き一人ひとりに合った支援をしている。	
49	18	日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	(自己評価) 外出の機会を出来るだけ多く持つようにしている。計画を立て、お花見・紅葉狩り等に出かけている。天候の良い日は敷地内の散歩を実施している。 (外部評価) 調査訪問時、ご家族が来られて、一緒に外出される利用者の様子がみられた。法人の敷地内には託児所もあり、保母さんや子ども達と交流することもある。又、噴水がある広場や花・木等、季節に応じて楽しめる。時には併設サービスの車を借りて、買い物に出かけたり、ドライブされることもある。ご家族も一緒に八堂山にドライブされた際には、利用者から懐かしい思い出話も聞かれて、その夜ご本人はぐっすりと眠られたようだ。	さらに日常的な外出支援について、利用者の希望やご家族の要望をお聞きしてみる機会を作ってはどうか。毎日外に出るような習慣を作ったり、外で活動する機会を作る等、又、地域の中に出かけて行き、利用者の生活の幅を広げ、いろいろな方とかかわりながら生活を続けていけるような支援に工夫をされてほしい。
50		お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	(自己評価) 本人のご希望でお金を所持している方もいるが、お金の管理が難しい方がほとんどである。	
51		電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	(自己評価) 利用者から電話のご希望があれば、その都度対応している。手紙はご家族から届く事もある。家族会などで、ご家族の協力を得ながら書いてもらっている。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
52	19	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	(自己評価) 光が強すぎないように、季節に応じてすだれやカーテン等を利用している。玄関やフロアに季節の花を生けたり、行事の時の写真を掲示し、季節感が味わえるよう工夫している。	
			(外部評価) 野菜作りがお上手な職員を中心に畑作りをされており、夏はすいかがたくさん採れたようである。調査訪問時には大根やブロッコリーを植えておられた。事業所の居間は南に面していて日当たりも良く、南側のフェンス沿いにお花を植えておられた。玄関のスリッパは消毒ボックスで清潔に保たれている。お花のお好きな職員がおられて、玄関や事業所の内の各所に季節のお花を生けておられた。	
53		共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	(自己評価) 共有の場所にソファ、手作りベンチ、畳などを設置し、思い思いの時間が過ごせるよう工夫している。	
54	20	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	(自己評価) ご家族と相談しながら、好みの物を持ってきてもらっている。ご家族、親類、友人などと写した写真を居室に貼り、思い出されるよう工夫している。	
			(外部評価) 居室は、それぞれにご家族が来られ、一緒にゆっくり過ごせるようテーブルとイスを持ち込んでおられたり、ご主人の位牌と写真にお花を供えておられたり、ご自宅で使っておられた鏡台やタンスを置いておられる方もみられた。ご家族が持って来てくださったお花や庭のお花を飾っておられる。各居室には、洗面台が付いており、化粧水を置いている方もあった。こたつを置いている方は、職員が訪問した際にはお茶を入れてくださるようで、職員はお湯を持って訪問するようにしている。	
55		一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	(自己評価) 廊下、トイレに手すりを設置している。また、トイレには手作りの案内板で表示し、浴槽には、滑り止めを敷き、浴室にも手すりを設置している。	